

屋内スケート施設あり方検討会議(資料)

カーリング専用競技施設併設の効果

2022年10月17日(月)
山形県カーリング協会

目次

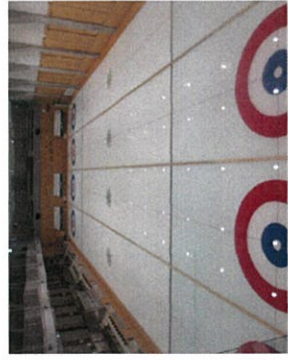
- 山形県カーリング協会の歩み
- 競技施設の現況
 - 近隣のカーリング競技施設の状況
 - 山形県カーリング協会の現況
- カーリング競技施設の条件
- 屋内スケート場併設カーリング専用シートの効果
- 競技人口拡大に向けた方策
- 競技力向上の方策
- カーリング専用施設運営のために必要なこと
- 施設利用率向上に向けた取り組み

山形県カーリング協会の歩み

- 1982年(昭和57年)山形スケートセンター（山形市荒楯）にてカーリングを実施
- 1983年(昭和58年)山形県カーリング協会設立
 - － 1984年(昭和59年)日本カーリング協会創設
- 1988年(昭和62年)第1回東北オープンカーリング選手権(現東北カーリング選手権)を山形市で開催（出場県：山形県、宮城県、青森県）
- 1993年(平成5年)山形スケートセンター（山形市荒楯）閉鎖
- 1993年(平成5年)練習会場を山形厚生年金休暇センター(現ヒルズサンピア)屋内スケート場に変更
 - － 1994年(平成6年)長野冬季オリンピックでカーリング競技が正式種目となる
- 2015年(平成27年)日本カーリング協会主催カーリング教室をヒルズサンピアで実施
- 2017年(平成29年)ヒルズサンピア屋内スケート場閉鎖
- 2017年(平成29年)練習会場を盛岡市アイスリンクに変更

近隣県のカーリング競技の現状①

カーリングができる近隣の施設



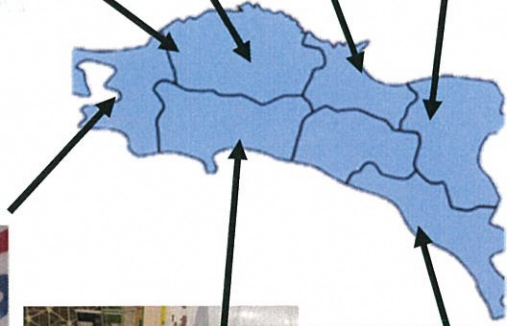
青森市スポーツ会館
カーリング専用



秋田県立スケート場
スケートと併用
夜間のみ利用可



新潟市アイスアリーナ
スケートと併用
18時～利用可



岩手県立二戸青少年の家

スケート場
スケートと併用
夜間のみ利用可



盛岡市アイスリンク

カーリンググシート
カーリング専用



アイスリンク仙台

スケートと併用
夜間のみ利用可



磐梯熱海アイスアリーナ

スケートと併用
夜間のみ利用可



近隣県のカーリング競技の現状②

東北のカーリング専用施設の比較

項目	青森県	岩手県	山形県 (参考)
施設の名称	青森市スポーツ会館	盛岡市アイスリンク	ヒルズサンピアスケート場
整備年度	平成12年12月	平成27年9月	平成2年~平成30年
運営方式	通年型	通年型	11月~3月
シートの数	4シート	2シート	2シート
シートの特徴	シート区分する枠を設置	シート区分する枠を設置	ラインのみ アイスに傷、傾斜
利用料金(1時間当たり)	500円/1シート	1,500円/1シート	27,000円/全面
観客席数	272席	約50席	1000席
大会実施	国際大会	×	×
	全国大会	◎	×
	地方ブロック大会	◎	×
	県予選大会	◎	◎ (参加チーム数による)
	オープン大会	◎	◎

山形県カーリング協会の現況 練習環境の現状

- 山形県内にカーリング競技が行える施設はない
 - 酒田市スワンスケートリンクはカーリング不可
- 「盛岡市アイスリンク」を利用
- 練習は月1回程度
- 練習時間は1回4時間前後
- 練習会場までは車で往復6時間（高速道路利用）

※ このような現状が、競技者数が増えない原因になっていると考えられる。

カーリング競技施設の条件 ①

カーリング競技に求められるアイスの条件

- フラット(アイスに傾斜や凹凸がない)
 - ストーンの曲がりが極端に不均一になる
- クリーン (ゴミや傷が無い)
 - ストーンの動きに影響する
- 空調管理 (温度・湿度の管理ができる)
 - ストーンのスPEED、ブラシの効果に影響する

※ 競技をする上でも、管理する上でも専用のカーリングシートが必要

カーリング競技施設の条件 ②

カーリング場は4シート以上を整備

- 東北大会以上の大会を招致することができる
 - 第1回東北大会を当県で開催したことをはじめ、これまで本大会を5回開催し、東北地域内でのカーリング競技の普及に努めた経緯からも、再度当県での開催を強く切望する
- 毎年いずれかのカテゴリーの全国大会を実施できる
 - 日本カーリング選手権、日本ミックスダブルスカーリング選手権、日本車椅子カーリング選手権等
- 関東方面の競技者も利用する可能性が高い
- 専用施設の無い他県の予選会等や教室で利用されることが想定される

※ 交流人口の拡大により、にぎわい創出に寄与することができる

屋内スケート場併設カーリング専用シートの効果

- 競技人口の拡大
- 競技力向上
- スケート場利用率のアップ（氷上競技全体として）
- 生涯スポーツの場を提供
- 障害者スポーツの場を提供
- マスコミなどへの露出度アップ

競技人口拡大に向けた方策（その1）

- 定期的なカーリング教室の開催
 - － 小・中学生向け教室を月に1回程度実施
 - － 高校生、大学生、成人など年齢層に合わせた教室の実施
 - － 生涯スポーツとして高齢者向け教室の開催
- 障害者スポーツとしてのカーリング
 - － 車椅子カーリングの教室及び大会の実施
 - － ろう者のカーリング教室及び大会の実施

競技人口拡大に向けた方策（その2）

- JCAカーリングスクールの招致
 - オリンピアンや日本トップクラスの選手を講師に招いて、カーリングスクールを実施
 - JCAの予算にて毎年実施される
- OCT(オリンピッククセレブレーションツアー)の招致
 - 海外からオリンピックアンを招いてカーリングスクールや学校訪問などを実施
 - WCF及びJCAの補助にて数年に一度実施

JCAカーリングスクール

- 2022.7.31 /横浜銀行アイスアリーナ
 - 講師 藤沢五月
(北京オリンピック銀メダリスト)
松村由里
(2022車椅子カーリング世界選手権
ミックスダブルス出場)
荒谷飛翔
(2022世界デフカーリング選手権
ミックスダブルス銀メダリスト)
- 他オリンピック、世界選手権出場選手



オリンピック セレブレーションツアー



- 2018.10.6 ~ 10.8 / 盛岡市アイスリンク
- 講師 Shannon Kleibrink
(トリノオリンピック銅メダリス
ト)



競技人口拡大に向けた方策（競技人口増加の例）

岩手県内のカーリング競技人口の推移(盛岡市アイスリンク調べ)

項目	完成前年度	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後
	平成26年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
会員登録者人数		不明	124	146	155	140	179	193
カーリング施設の利用者延べ人数		4,462	8,363	10,898	9,002	8,187	10,258	3,405
カーリングのチーム数 (県リーグ参加チーム数)		不明	不明	16	14	13	17	18
競技審判員資格取得者数		不明	不明	32	30	33	34	34
カーリング教室の参加人数		624	2,057	2,224	672	803	1,481	460

✓ 平成27年 盛岡市にカーリング専用シート(2シート)が整備された。

✓ 令和3年「第3回全国小学生カーリング大会(チビリンピック)」において岩手県代表チームが優勝

✓ 令和4年「第1回全国中学生カーリング大会」において岩手県代表チームが優勝

✓ 現在の2シートでは足りないとの声が上がっている。

※令和4年7月時点

競技力の向上の方策

- JCAカーリングスクール 競技力向上クラス実施
- 公認カーリングコーチ1、コーチ2の養成
 - － JCA公認指導者養成講座開催又は講座への派遣
 - 長野県カーリング協会では毎年JCAカーリングスクール又は公認指導者養成講座を開催
 - － 山形県カーリング協会内資格取得者
 - コーチ1：2名、コーチ2：1名
- 南東北リーグ戦実施
- 各種大会への積極的な参加
 - － 公式大会、オープン大会等

カーリング施設運営のために必要なこと

- アイスメーカーの育成（カーリング特有の氷を作る技術者）
 - アイスメーカーレベルⅠ～Ⅱ講習会の実施
 - アイスメーカーレベルⅢ～Ⅳ講習会への派遣
- 公認審判員の育成
 - C級及びB級公認審判員養成講習会実施
 - A級公認審判員養成講習会への派遣
 - 山形県カーリング協会資格取得者
 - A級：1名、B級：1名、C級：5名

施設利用率向上に向けたその他の取り組み

- 近隣各県への利用の呼びかけ
 - －特に宮城県、福島県との連携強化
- 各種オープン大会開催
 - －各種ミックス大会、婚活カーリング大会、職場対抗カーリング大会等
- 山形県リーグ戦実施